

常任委員会 報告

総務

▼G20観光大臣会合

G20閣僚会議の誘致に
関して、ひらふエリアに
国際会議場を建設する計
画は中止となりましたが、
4月に既存施設を利用し
た観光大臣会合を倶知安
町で開催することが決定
しました。当初、経済建
設常任委員会で対応して
きましたが、所管が当委
員会に変わりました。
6月に商工会議所や観
光協会などの民間団体と
町によるG20観光大臣会
合推進町民会議を設置し
て町を挙げてのおもてな
しや歓迎に向けた活動体
制が整えられました。7
月には、来年の10月25・
26日の開催が決定しまし
たので、より具体的な取
り組みが行われていくこ
とになりますので、議会
としても積極的に関与し
ていくこととなります。

▼宿泊税

町では、法定外目的税
の宿泊税の導入に向けた
条例案を9月の定例会に
提案する計画で準備を進
めています。

委員会では、4月に提
示された宿泊税導入に係
る検討資料や宿泊税条例
案の素案を基に、先進地
である大阪府や京都市の
事例を参考に調査・研究
を行ってきました。8月
には、大阪府庁や京都市
役所に行政視察に出向き
調査の密度を高め、9月
の第3回定例会に提案さ
れる条例案の審査に向け
準備を進めているところ
です。

厚生文教

▼合同納骨塚について

委員会で調査を続けて
いた旭ヶ丘霊苑に建立さ
れた合同納骨塚について
は、使用者の要件等を慎
重に審査し、町外居住者
の使用については、本町
に住所を有していた者の
焼骨の埋蔵をしようとし
るものと規定し、第3回
臨時会で「倶知安町墓地
設置管理条例の全部改
正」が可決され、本年6
月から供用開始となりま
した。

▼請願審査

第3回臨時会で付託さ
れた請願第2号「障害者
の生きる基盤となる『暮
らしの場』の早急な整備
を求める意見書を国に提
出することを求める請願
書」の審査については、
障がい者の入所施設不足
や福祉人材の確保の問題
を認識し、委員間で討議

経済建設

▼陳情審査

委員会ではこれまで、
G20関連の調査、審査を
進めてきました。

陳情第11号「G20閣僚
会議の誘致から撤退し身
の丈のまちづくりを願う
陳情書」が3月5日に付
託され、陳情審査が行わ
れました。委員会として
陳情を不採択にすべきも
のと賛成多数で決定しま
した。

理由は、4月5日に正
式に倶知安町で開催する
ことが決定された事、既
存施設で開催できる事で
新たな財政支出が見込ま
れなくなった事などです。
審査内容を本会議で報告
し、賛成多数で不採択と
議決されました。

▼国民健康保険事業特別 会計

財政運営状況について
累積赤字が10年ぶりに解
消されたことが報告され
被権者を北海道に移行し
た影響や、安定化に向け
た今後の取り組みについ
て、活発な質疑がなされ
ました。

▼公営住宅等長寿命化計 画の見直し

倶知安町には現在9の
団地があり、管理戸数は
39棟・463戸となってい
ます。平成24年度に策
定された本計画は、平成
33年度までの10年間で定
められており、この計画

に従い町営住宅の改修工
事が行われております。
今回の計画見直しは、
当初の計画期間を3年前
倒しし、期間を平成30年
度から平成39年度として
策定します。
業務については、株式
会社ドローンとおよそ2
27万円で契約を結び、
費用の50%は、国から交
付されます。

出展：公営住宅等長寿命化計画 平成30年度～平成39年度

団地名	建築年度	管理戸数	整備内容(案)
白樺団地	H 21～22	3棟 29戸	維持管理
南6条団地	S 43～46	15棟 74戸	建替、除去
南9条団地	S 51～52	5棟 30戸	建替、除去
むつみ団地	S 53～54	2棟 25戸	維持管理
羊蹄(町営)	S 57～61	4棟 48戸	※個別改善
しらゆき(町営)	S 62	1棟 8戸	維持管理
望羊団地	H 2～10	3棟 83戸	維持管理
ひまわり団地	H 12～16	3棟 92戸	維持管理

※羊蹄団地の個別改善とは、長寿命化・居住性向上・福祉対応の為の工事を行なう意味です。

特別委員会

報告

まちづくり新幹線・高速道路

▼新幹線延伸に伴う工事などの今後のスケジュール(予定)

平成30年5月から用地測量、建物調査。

10月から用地協議等(補償額算定他)

平成31年5月から移転開始。

平成33年2月に移転完了。

▼宅地造成事業について
町では移転対象者向けに、旧胆振線跡地(町有地分36000㎡)に宅地造成事業を計画しています。くつちゃん型住宅に対応するため、1区画100坪を予定している報告を受けた。

特別委員会では、条件などの詳細については、移転対象者のニーズをアンケート等で再調査した上で進めるよう求めた。

▼トンネル工事関連

二ツ森トンネル工事は4月20日現在で進捗率は約24%。要対策土は峠下の仮置場にて経過観察を行い、中性化した後に花園牧場内の受入地に搬入しています。

羊蹄トンネル(比羅夫)については平成28年より掘削工事開始に向けた工事が進められています。掘削工事は平成31年2月より開始予定となっています。

▼北海道新幹線駅周辺のまちづくり提言書

平成29年度にまとめられた、新幹線まちづくり検討委員会の提言書の報告を受けました。この提言を受け、町は平成30年度中に基本構想を策定します。

▼俱知安駅在来線ホームの連絡通路について

平成34年度、在来線ホームの平面化の運用を開始すると報告がありました。跨線橋を越えずにホームに渡れるよう工事をを行い、利便性の向上を図る目的です。

▼北海道横断自動車道(俱知安〜余市)について

余市〜小樽間が平成30年度の開通を目指し事業が進められています。共和〜余市間が平成26年度、俱知安〜共和間が平成28年度に事業着手されています。

平成30年度の事業計画概要は、測量設計、共和地区における用地買収・工事着手等の計画となっています。

統合保育所

建物の完成後、本年度は園庭等の外構工事が施工されています。お昼寝の時間帯は重機の作業を制限し、歩道等の安全対策を重視しながら進められているところです。

外構工事に伴う歩道の整備について、6月21日に現地確認の調査を実施し、7月4日の委員会では、隣接地と連続性のあるかたちで通路を設けること、ベビーカーや車いす等での進入がスムーズにできるよう縁石を切り下げるなどしてスロープを数箇所設けること、園庭からの飛出し防止のため脱着式のフェンスを設置することとなりました。

そのほか、新施設となつてから調理が委託されている給食については、賄材料の地元発注が減少しており、地産地消、安心安全の面からも、地元食材の町内調達の確保を求めています。

役場庁舎建設

▼基本計画及び基本設計について

平成30年度の予算事業である実施設計に結びつけるための「基本計画及び基本設計」について町側及び設計業者からの提案・説明を受け、慎重に調査を進めてきました。

特別委員会として特に議論した内容は、平成29年5月に示された基本構想時点での概算工事費25億円が、最近の資材や労務費の高騰、役場庁舎として防災、住民サービスの向上などの機能充実を検討した結果、29・9億円となる見込みとの報告を受けたが、約5億円膨らんだ根拠が理解できないことから積算単価、鉄骨工法にした場合など細部にわたり説明を受けました。

また、本町の将来における財政シミュレーションの策定を求め、財政状況を調査研究しました。その結果、7月5日の特

別委員会では、貴重な財源を投資することから、無駄を省き節減に努め総体の事業費を30億を上限とし、実施設計に取り組みむこととしました。

今後については、情報の共有を図り、機能性の高い俱知安らしさのある多くの町民に親しまれる新庁舎のあり方について、引き続き調査研究をしていきます。

議会はいつでも、どなたでも傍聴できます

議会を傍聴してみませんか

第3回定例会は9月3日からの予定です

俱知安町ホームページ <http://www.town.kuchan.hokkaido.jp/>

議会のホームページ(インターネットで本会議を視聴できます。)

詳しくは議会事務局まで ☎56-8016(直通)